

ぶらぐらり 耶穌よつくんとて波のうへとあもこゝに風  
 のふちへておそれとぐらりかまひびて主  
 のこゝたどげとつり 耶穌やぐて手とのごころ  
 といひける信ぢるのうとあもこゝのよ 船よ  
 といひける船よのりけし風とぐらり 船よ  
 といひけるこれとつりてあもこゝの神の子  
 といひける言ふとつりてゲ子サレの地よとれり  
 三 五 そのとつりの人ぐ 耶穌とつりてそのとつりの四方よ  
 人といひける病めのとつりてとれり 耶穌  
 の衣のせとつりてとれり 衣のせとつりてとれり  
 みまらやとれり

第十五章

といひける言ふとつりてとれり 耶穌よとつりてといひ  
 けるとつりてとれり 耶穌よとつりてといひ  
 ける食とつりてとれり 耶穌よとつりてといひ  
 けるといひけるハ汝ハまじし汝のつとつりて神のいふと  
 おとハあんぞや<sup>四</sup> 神のいふとつりて父母とつりて父  
 母といひけるハとつりてとれり<sup>五</sup>

いつげたはむべて人父母はむひつてあるいよ  
ハそのいものありしついでむをくら父母と  
しむかて汝らハくくヨヨリ神のおんそ  
偽善<sup>ヒゼン</sup>やハエザヤハく汝らについで預言<sup>ヒゼン</sup>とて  
ハの民ハ口<sup>ハ</sup>とて口<sup>ハ</sup>とちづと唇<sup>ハ</sup>とて口<sup>ハ</sup>とちづと  
そのそちとく<sup>ハ</sup>ヨヨリ人のいまやを  
てくづく<sup>ハ</sup>とてと拜<sup>ハ</sup>と耶穌人<sup>ハ</sup>とよびて  
のいけハ<sup>ハ</sup>とてとよ<sup>ハ</sup>とて人のい  
よりづかめハ<sup>ハ</sup>とてと人<sup>ハ</sup>とよ<sup>ハ</sup>とて

耶穌のいつげたパリサイの人  
とちつたま<sup>ハ</sup>とてとて天の父<sup>ハ</sup>  
よのい<sup>ハ</sup>とてとてとてとて  
よのめ<sup>ハ</sup>とてとてとてとて  
よのよ<sup>ハ</sup>とてとてとてとて  
くみた<sup>ハ</sup>とてとてとてとて  
汝らよ<sup>ハ</sup>とてとてとてとて  
おつて<sup>ハ</sup>とてとてとてとて  
ついで<sup>ハ</sup>とてとてとてとて  
のい<sup>ハ</sup>とてとてとてとて

とやれはうろちよりづる 悪念凶殺姦淫好色攘竊妄謗  
 人としてけろすべし 耶穌ころとさりてタイロとシドンの土地よゆひ  
 らぬ人としてけろすべしめがかりされどの手とあしはびて食ふハ  
 いひけるハ主よダビデのときえわれとあなれえたまへくさむじを  
 めまむびく鬼よつれり 耶穌一言もくさむじにきり  
 ーバそのでーきりこりていひけるはこころのあはしり  
 うさうらめさよこれとさへたまへ ころといていひける  
 イスラエルの家のまろハ羊のころよまれいしん

五 ころとさりてこれを拜しといひけるハ主よころとたまへ  
 たまへころとていひけるハ子よものごんとりて大よせむる  
 ほうしぞころと主よまかりとらされどいぬもその主  
 の膳よりあらしる膳とらとらり 耶穌ころといていひ  
 けるハころとよ汝の信仰ハおろひなりぬまむく汝よ  
 なるべしころとらそのむじめこのころとらいえたり 元耶  
 穌ころとさりてガリラヤの海べよそよて山よのりて坐せり  
 ころとらの人ぐあーなくめーひ暗しきまへいやくむくの  
 やまひあはるものごとむびさり 耶穌のあーりくにおはす

かぐやみくらこれといやーたまうらーらにおいて嘯うなひのひ  
 くるさいえあーなうにあゆみ目ーひハあゆみと入ぐとて  
 あやーみイスラエルの神とあがめりー耶穌そのでーとびて  
 ひびる人ぐとぞとに三日とてとまにわたるるのあひ  
 ゆきうらましくとあられとあましくハ途中とてたやま  
 ととましくと飢うしてましくとこのまどそのでーな  
 ひびる野とていづこより入おろくの人とあまらんぞの  
 ぶんとえんや 耶穌とましくとひびるハだんいくつあま  
 らしくとせとらとて魚うとてあましくと地とてとれと入く

命いのちとてぶんと魚ととり謝あましてとてとりてーにあい  
 してハ人ぐとあま入りとてましくとて飽あたりあまりのくづと  
 せのかぐらとましくとひろり食たーめハとんを子こどもの  
 けうに四千入なり耶穌人ぐととましくとめて舟ふねよのがりマダラ  
 のまみよとてとり

第十六章

パリサイとサドカイの人と入り耶穌とてあまて天あまのあまーと  
 うましくとてとましくととましくととてつひびる日くら  
 とましくと汝なんぢのゆまやひよとてとましくと天あま氣きなるといふ



あるハ預言者<sup>ザヤ</sup>のひとりありといひ<sup>五</sup>たりきくよひひける  
 汝ら<sup>五</sup>を<sup>六</sup>とこれといふやシモン<sup>六</sup>ペテロ<sup>六</sup>とていひけるある  
 人キリストの<sup>七</sup>子あり耶穌<sup>七</sup>とていひける  
 シモン<sup>八</sup>ヨナの子汝ハ<sup>九</sup>さふらひなりいふと<sup>十</sup>なれがきき<sup>十一</sup>血肉<sup>十二</sup>汝  
 と<sup>十三</sup>あむ<sup>十四</sup>に<sup>十五</sup>あ<sup>十六</sup>き<sup>十七</sup>天<sup>十八</sup>より<sup>十九</sup>ま<sup>二十</sup>を<sup>二十一</sup>父<sup>二十二</sup>あり<sup>二十三</sup>され<sup>二十四</sup>  
 汝<sup>二十五</sup>は<sup>二十六</sup>つ<sup>二十七</sup>げん<sup>二十八</sup>汝<sup>二十九</sup>ハ<sup>三十</sup>ペテロ<sup>三十一</sup>なり<sup>三十二</sup>が<sup>三十三</sup>集會<sup>三十四</sup>と<sup>三十五</sup>この<sup>三十六</sup>石<sup>三十七</sup>の<sup>三十八</sup>う<sup>三十九</sup>へ<sup>四十</sup>は<sup>四十一</sup>  
 べ<sup>四十二</sup>黄泉<sup>四十三</sup>の<sup>四十四</sup>門<sup>四十五</sup>ハ<sup>四十六</sup>こ<sup>四十七</sup>を<sup>四十八</sup>よ<sup>四十九</sup>ら<sup>五十</sup>ぶ<sup>五十一</sup>し<sup>五十二</sup>ぞ<sup>五十三</sup>あ<sup>五十四</sup>は<sup>五十五</sup>これ<sup>五十六</sup>天國<sup>五十七</sup>の<sup>五十八</sup>鑰<sup>五十九</sup>と  
 汝<sup>六十</sup>は<sup>六十一</sup>あ<sup>六十二</sup>は<sup>六十三</sup>汝<sup>六十四</sup>が<sup>六十五</sup>地<sup>六十六</sup>よ<sup>六十七</sup>さ<sup>六十八</sup>む<sup>六十九</sup>は<sup>七十</sup>天<sup>七十一</sup>よ<sup>七十二</sup>さ<sup>七十三</sup>む<sup>七十四</sup>れ<sup>七十五</sup>ま<sup>七十六</sup>汝  
 が<sup>七十七</sup>地<sup>七十八</sup>よ<sup>七十九</sup>と<sup>八十</sup>き<sup>八十一</sup>て<sup>八十二</sup>天<sup>八十三</sup>よ<sup>八十四</sup>ら<sup>八十五</sup>る<sup>八十六</sup>べ<sup>八十七</sup>て<sup>八十八</sup>お<sup>八十九</sup>と<sup>九十</sup>て<sup>九十一</sup>に<sup>九十二</sup>これ<sup>九十三</sup>ハ

キリストあり耶穌と人よつづをいふ<sup>一</sup>めたま<sup>二</sup>つ<sup>三</sup>この<sup>四</sup>よ<sup>五</sup>ら<sup>六</sup>り  
 耶穌と<sup>七</sup>めて<sup>八</sup>その<sup>九</sup>で<sup>十</sup>よ<sup>十一</sup>ら<sup>十二</sup>る<sup>十三</sup>あ<sup>十四</sup>は<sup>十五</sup>ど<sup>十六</sup>エロソ<sup>十七</sup>ム<sup>十八</sup>よ<sup>十九</sup>ゆ<sup>二十</sup>ら<sup>二十一</sup>て<sup>二十二</sup>長老<sup>二十三</sup>  
 祭司<sup>二十四</sup>の<sup>二十五</sup>よ<sup>二十六</sup>い<sup>二十七</sup>が<sup>二十八</sup>く<sup>二十九</sup>や<sup>三十</sup>ら<sup>三十一</sup>ら<sup>三十二</sup>り<sup>三十三</sup>の<sup>三十四</sup>く<sup>三十五</sup>こ<sup>三十六</sup>を<sup>三十七</sup>う<sup>三十八</sup>け<sup>三十九</sup>且<sup>四十</sup>こ<sup>四十一</sup>ら<sup>四十二</sup>れ  
 三日<sup>四十三</sup>め<sup>四十四</sup>よ<sup>四十五</sup>よ<sup>四十六</sup>み<sup>四十七</sup>が<sup>四十八</sup>つ<sup>四十九</sup>こ<sup>五十</sup>を<sup>五十一</sup>あ<sup>五十二</sup>り<sup>五十三</sup>たま<sup>五十四</sup>つ<sup>五十五</sup>り<sup>五十六</sup>ペテロ<sup>五十七</sup>耶穌<sup>五十八</sup>と<sup>五十九</sup>あ<sup>六十</sup>は<sup>六十一</sup>  
 て<sup>六十二</sup>い<sup>六十三</sup>ま<sup>六十四</sup>め<sup>六十五</sup>い<sup>六十六</sup>ひ<sup>六十七</sup>ら<sup>六十八</sup>む<sup>六十九</sup>ハ<sup>七十</sup>主<sup>七十一</sup>よ<sup>七十二</sup>あ<sup>七十三</sup>い<sup>七十四</sup>よ<sup>七十五</sup>あ<sup>七十六</sup>は<sup>七十七</sup>ま<sup>七十八</sup>し<sup>七十九</sup>こ<sup>八十</sup>ら<sup>八十一</sup>い<sup>八十二</sup>せ<sup>八十三</sup>たま<sup>八十四</sup>  
 くれ<sup>八十五</sup>あ<sup>八十六</sup>あ<sup>八十七</sup>い<sup>八十八</sup>よ<sup>八十九</sup>ら<sup>九十</sup>ら<sup>九十一</sup>る<sup>九十二</sup>て<sup>九十三</sup>ペテロ<sup>九十四</sup>よ<sup>九十五</sup>い<sup>九十六</sup>  
 ひ<sup>九十七</sup>ハ<sup>九十八</sup>サ<sup>九十九</sup>タ<sup>一百</sup>チ<sup>一百一</sup>よ<sup>一百二</sup>ら<sup>一百三</sup>ら<sup>一百四</sup>の<sup>一百五</sup>ひ<sup>一百六</sup>汝<sup>一百七</sup>ハ<sup>一百八</sup>ま<sup>一百九</sup>し<sup>二百</sup>よ<sup>二百一</sup>ら<sup>二百二</sup>ら<sup>二百三</sup>く<sup>二百四</sup>ま<sup>二百五</sup>  
 かり<sup>二百六</sup>そ<sup>二百七</sup>を<sup>二百八</sup>汝<sup>二百九</sup>ハ<sup>三百</sup>神<sup>三百一</sup>の<sup>三百二</sup>こ<sup>三百三</sup>を<sup>三百四</sup>お<sup>三百五</sup>も<sup>三百六</sup>ん<sup>三百七</sup>ぞ<sup>三百八</sup>つ<sup>三百九</sup>て<sup>四百</sup>人<sup>四百一</sup>の<sup>四百二</sup>こ<sup>四百三</sup>を<sup>四百四</sup>あ<sup>四百五</sup>  
 べ<sup>四百六</sup>こ<sup>四百七</sup>の<sup>四百八</sup>よ<sup>四百九</sup>ら<sup>五百</sup>に<sup>五百一</sup>ひ<sup>五百二</sup>け<sup>五百三</sup>ら<sup>五百四</sup>き<sup>五百五</sup>られ<sup>五百六</sup>よ<sup>五百七</sup>ら<sup>五百八</sup>が<sup>五百九</sup>らん

とおもふことのハ人の心とてとてその十字架と負ひて這に  
ちんちんせんとていふことはあるけれどもとてとて人にとて  
のハ人の心とていふことはあるけれどもとてとて人の  
めらとていふことはあるけれどもとてとて人の  
あまねく世界とていふことはあるけれどもとてとてあ  
んの益あつらんやまゝい人あつんとてとてそのめらとていふ  
そと人の子その父の威光とていふことはあるけれどもとて  
いふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことはある  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは

第十七章

六日の後耶穌ペテロヤコブとてその兄弟ヨハン子とてその  
人としていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふ  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは  
とていふことはあるけれどもとてとて人の心とていふことは

うつてくつせたまふと五のくつてくつせたまふに六かたや七のくつせたまふに八雲九れ  
 らとちひいぬまよ雲十より十一の急あつて十二ひびくハこれハ心十三が心  
 よかあふまが愛子あり汝らこれよとくづ十四と十五と十六と十七と十八と十九と二十と聞二十一  
 うつてきたたそれおちひよおそれ二十二と二十三と二十四と二十五と二十六と二十七と二十八と二十九と三十と  
 よと三十一と三十二と三十三と三十四と三十五と三十六と三十七と三十八と三十九と四十と  
 よと四十一と四十二と四十三と四十四と四十五と四十六と四十七と四十八と四十九と五十と  
 らと命五十一と人の子よと五十二と五十三と五十四と五十五と五十六と五十七と五十八と五十九と六十と  
 づと六十一と六十二と六十三と六十四と六十五と六十六と六十七と六十八と六十九と七十と  
 者ハエリヤ七十一と七十二と七十三と七十四と七十五と七十六と七十七と七十八と七十九と八十と  
 耶穌八十一と八十二と八十三と八十四と八十五と八十六と八十七と八十八と八十九と九十と

實一ハエリヤハ二と三と四と五と六と七と八と九と十と十一と十二と十三と十四と十五と十六と十七と十八と十九と二十と  
 あと二十一と二十二と二十三と二十四と二十五と二十六と二十七と二十八と二十九と三十と三十一と三十二と三十三と三十四と三十五と三十六と三十七と三十八と三十九と四十と  
 と四十一と四十二と四十三と四十四と四十五と四十六と四十七と四十八と四十九と五十と  
 の子よ五十一と五十二と五十三と五十四と五十五と五十六と五十七と五十八と五十九と六十と  
 おと六十一と六十二と六十三と六十四と六十五と六十六と六十七と六十八と六十九と七十と  
 ちり七十一と七十二と七十三と七十四と七十五と七十六と七十七と七十八と七十九と八十と  
 よと八十一と八十二と八十三と八十四と八十五と八十六と八十七と八十八と八十九と九十と  
 みたま九十一と九十二と九十三と九十四と九十五と九十六と九十七と九十八と九十九と百と  
 たとれて百一と百二と百三と百四と百五と百六と百七と百八と百九と百十と



してはひきぬきしやとてこゝにあつてもども 七 耶穌こそであく信  
 ぢふといひつゝいふ世ぞいつまでこれあんぢうといふたをん  
 ぢりもぞいふ世汝らとちのぞんや夫の世よそ世とていふ  
 とこれといつり 耶穌鬼といふもめたまつりいふもいふら 鬼  
 といふよりいづくその子にのほむるなりとていふら 九  
 十一のころよ 耶穌よとていふらひきたふていふらとていふ  
 りとていふらあつていふらいふらんとぞや 十 耶穌よとていふらひ  
 汝ら信ぢるもいふえなりいふらとていふらばまことに汝らよ  
 つびんも 芥子だもいふらどの信ぢることあつばその山に

うらうがーとていふらつていふらとていふらとていふらに  
 といふらとていふらとていふらとていふらとていふらと  
 断食よあつていふらとていふらとていふらとていふらと  
 耶穌とていふらの子人の手よとていふらとていふらとていふらと  
 三日めよとていふらとていふらとていふらとていふらと  
 めり西カペナオムよとていふらとていふらとていふらとていふらと  
 テロよとていふらとていふらとていふらとていふらとていふらと  
 らの五とていふらとていふらとていふらとていふらとていふらと  
 つていふらとていふらとていふらとていふらとていふらと  
 耶穌まづ  
 世界の王とていふらと

運上や人税とこれよりとるや、おのれの子どもよりとる  
るのめよりとる、マテロ、このひびきをがみ人よりとる  
耶穌もこれにひびきをなす、子どもハ自由ありモ、  
これよりとる、とてまづをあら、あち海よゆを、  
これよりとる、とてまづをあら、あち海よゆを、  
これよりとる、とてまづをあら、あち海よゆを、  
これよりとる、とてまづをあら、あち海よゆを、  
これよりとる、とてまづをあら、あち海よゆを、

第十八章

そのときで、耶穌よこして、このひびきハ天國よこして、  
あるものハこれぞや、耶穌おのれ子どもよりとる、  
あるものハこれぞや、耶穌おのれ子どもよりとる、  
あるものハこれぞや、耶穌おのれ子どもよりとる、  
あるものハこれぞや、耶穌おのれ子どもよりとる、  
あるものハこれぞや、耶穌おのれ子どもよりとる、

このひびきハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、  
あるものハ、まことに汝らよひびきよこして、

あづくつちづくせう人よらびとひはうとてハき一汝の  
 手まゝに足おのれとつちづつとせらあくハこれとてや  
 びきてよ両手<sup>アキテ</sup>両足<sup>アキテ</sup>ありてつちづつと火よやがし<sup>アキテ</sup>と  
 んふりあーや(まう)はくさあて生よ<sup>アキテ</sup>くはふり一や  
 汝の眼おのれとつちづつとせらあくバこれとてや  
 むげとてよ<sup>アキテ</sup>両目<sup>アキテ</sup>ありて地<sup>アキテ</sup>らゝの火よ<sup>アキテ</sup>いげい<sup>アキテ</sup>れん  
 たり一あよそ<sup>アキテ</sup>のらよ<sup>アキテ</sup>ハ<sup>アキテ</sup>一汝らよのち<sup>アキテ</sup>か  
 一りのののどあき<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>や<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>あ<sup>アキテ</sup>それ汝ら<sup>アキテ</sup>  
 つげん天よありてその使<sup>アキテ</sup>く天よ<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>り<sup>アキテ</sup>が<sup>アキテ</sup>父<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>か<sup>アキテ</sup>や

とつひよこればかり土を造人の子わろびくものせとく一ん  
 一めよとこれぐなり<sup>アキテ</sup>一汝ら<sup>アキテ</sup>つ<sup>アキテ</sup>よ<sup>アキテ</sup>お<sup>アキテ</sup>や<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>人<sup>アキテ</sup>百<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>  
 羊<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>り<sup>アキテ</sup>そ<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>足<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>よ<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>九<sup>アキテ</sup>十<sup>アキテ</sup>九<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>山<sup>アキテ</sup>よ<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>け<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>  
 ち<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>ひ<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>く<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>ざ<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>これ<sup>アキテ</sup>よ<sup>アキテ</sup>あ<sup>アキテ</sup>く<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>  
 に汝よつびんちうく<sup>アキテ</sup>九<sup>アキテ</sup>十<sup>アキテ</sup>九<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>あ<sup>アキテ</sup>り<sup>アキテ</sup>あ<sup>アキテ</sup>く<sup>アキテ</sup>その<sup>アキテ</sup>ひ<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>  
 もの<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>く<sup>アキテ</sup>ん<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>これ<sup>アキテ</sup>よ<sup>アキテ</sup>あ<sup>アキテ</sup>く<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>  
 ち<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>ハ<sup>アキテ</sup>天<sup>アキテ</sup>よ<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>汝<sup>アキテ</sup>ら<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>父<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>  
 ま<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>兄弟<sup>アキテ</sup>汝<sup>アキテ</sup>よ<sup>アキテ</sup>つ<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>あ<sup>アキテ</sup>く<sup>アキテ</sup>あ<sup>アキテ</sup>く<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>汝<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>  
 ち<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>あ<sup>アキテ</sup>く<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>汝<sup>アキテ</sup>の<sup>アキテ</sup>ま<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>兄弟<sup>アキテ</sup>と<sup>アキテ</sup>挽回<sup>アキテ</sup>一<sup>アキテ</sup>



其由急ニ家來ケラひしりてひげハ君ミとありしとみ  
たすはるゝまつくぢやべーとあるとそ家來ケラの君ミあり  
れそこれとそひげおいとありその家來ケラいどお  
のまは百目ヒヤクメのひげありたる友トモありひげは  
咽ノドとりひげありとありひげはそ友トモありに  
かそこれよぬぎてひげハそれとありたまは  
まつくぢやべーとされどうぢやべーとゆひ  
おひとつくぢやべーとされどひげハそれとあり  
友トモそのぢやべーとそとありぢやべーとそぢやべー

こをそまその君ミよありぢやべーとありて君ミこれとひ  
てひげハあり家來ケラわらうぢやべーとありひげハ  
こをそ汝ミのひげおいとありぢやべーとあり  
ひげハ汝ミとあり友トモとありぢやべーとありその  
君ミつりてひげおいとありぢやべーとあり  
ぢやべーとありおのくこあり兄弟ケイテイのぢやべーとあり  
ぢやべーとあり天テンのログ父フチあり汝ミらよのぢやべーとあり  
ぢやべー

第十九章

耶穌このころといひおとつりーとてカリラヤとてさうてヨルダ  
 のびやエタヤのやういひよつたりしりたよ二おちくの人ぐられよ  
 といふいーバそこよてこたらしといやーたまりニパリサイの人  
 といつて耶穌をこちろといひげ人あよのりけりて色  
 その妻といふてハよりや四こつてささうよいひげ八元始  
 くり人とつくりーめこれを男女あんなよとつくりたまひー五この  
 ちろよ人父母とてなれてその妻よその二人のの一體と  
 かりとーといひーこをいまべこちろら六されバもやちろ  
 よありて一體いつぱいなりゆらよ神のあらせーものと人々あて

べーとて耶穌よいひけるハちろバモーセハ離縁状とあて  
 て妻といふとて命いのちとてハあんぞやハちろにひけ  
 るとモーセハ汝らのころのしなななうて妻といふとて  
 とゆのちりされどとてめハかくのこちろあちろー九これ  
 汝らよつげんされよも溜事しなのゆえちろとてその妻と  
 といふころの婦とめころのハ姦溜しなとちろなりやういふされ  
 ころとらとめころのものも姦溜しなとちろあり十そのとて耶穌よい  
 ひけるハちろ人つまたおいてころのこちろちろとていふ  
 よちろとてちろにころのハちろちろちろちろちろちろちろ



さんとあつせばゆいそそ汝が所持しよじのののうりてまづーいふのよ  
 ろくこそとあんとら天に財さいとりてー且かつうりての財さいにさく  
 三つうさめそのいふとさううてさうぬそれうまひ  
 おろひなる身上しんじやうあまバなり三耶穌そのでーいひけるま  
 ころに汝らよつげん富いふめく天國てんこくよつるころかーま、汝  
 らよつげんめあめ、神の國かみよつるよりも駱駝らくだ針はりの孔あなを  
 ころころいひなやとさうり五でーいふとさうころま  
 おどろそつひけるあううバそくころまのいふれぞや六  
 耶穌イエスとさうとさういひける人ひと間まよあへころころいふ

こそ神よあへころころあーモペテロころて耶穌よいひ  
 けるころころいふとさう貴君ききみよころころいふと  
 うづころころ耶穌イエスとさうらにいひけるまころに汝らよつげんれ  
 ころころいひ汝らハ世よのあつたまるとさ人にの子そのふとさ  
 ころころいひ汝らもまろイスラエルの十二の支流しせうを支配しせいして  
 十二のころころいひころころいひ元ころ各かのころ家いへあつひハ兄弟  
 あつひハ姉妹あねいもうとあつひハ父あつひハ母或あるハ妻つま或あるハ子こあつひハ田たと  
 とさうーころハ百倍ひゃくばいとさうけ且かつかころあつひのころとさう  
 ころころの光ひかりのころあつひのころあつひのころあつひのころあつひの



第二十章

それ天國ハ朝あそぐやぐ葡萄ぶどうぶらけにささくものどやさひよんで  
 くる主人あかは似よくりニささくものど「日ひ」金かねひつとある  
 んと約束やくそくしてこれらと葡萄ぶどうぶらけよつとささるニまじ  
 九字くじごらいでまらよひまよてくらたものどみて  
 又また汝ならもまじ葡萄ぶどうぶらけよあけ相當たいじやうのあひとあらん  
 とつひちまじぶらけまじゆびり五ごまじ十二じふに字じと三字さんごらひ  
 ぐまじのどさるせり六む五ご字じごらひでぐらよひまよてくら  
 たるものどあひらまじつひちまじ終日しゆうじつひまよてくらつひ

あんとまじつひけらつひまじとやまのやまのやまのやま  
 とつひにつひにまじ汝なもまじ葡萄ぶどうぶらけよあひと相當たいじやうの  
 價あひと一いつ日ひくれよぶらけのあつとその家のどまじ  
 つひちまじぶらけまじあひのあひのあひのあひのあひのあひ  
 五ご字じごらひと五ご字じごらひと五ご字じごらひと五ご字じごらひと五ご字じごらひ  
 とつひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひ  
 金かねひつとささけりこれとささけてあつとつひちまじつひちまじつひちまじ  
 とつひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひ  
 くこのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひのあひ  
 終日しゆうじつの苦く勞らう

暑くあつたからとひきくこれとあせりそのひきく  
 うつていつひげえ友よこれ汝の無理とあせりこれと金ひ  
 らしめおそくおあせりや汝のひきくつめちのあせり  
 汝のひきくひきくあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 ひきくひきくひきくひきくひきくひきくひきくひきく  
 あせりあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 のひきくあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 て十二とともひきくひきくひきくひきくひきくひきく  
 途<sup>ち</sup>中<sup>ちゆう</sup>とて人とひ  
 撰<sup>せん</sup>るに  
 のひきくあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 のひきくあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり

のひきくあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 死罪よききあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 人よききあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 のひきくあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 はあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 ひきくあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせりあせり  
 洗禮<sup>せんらい</sup>とてひきくひきくひきくひきくひきくひきくひきく

うましく 耶穌よひひけるはうくまきべー 耶穌うましくにひひける  
 汝らどつよりがさうづきをのこちさうがうくる 洗禮をうくべー  
 あうーあぐーさうが右左よ坐さるこくハヨきよりあゝゆるにあゝと  
 ぶさうが父よりまうまれくるものよあゝらるべー 十人のでー  
 これとさうてやりの兄弟といふとふまうり 耶穌うましくとよ  
 びてひひける異邦の領主ハその民をつさうり 大あまの  
 ともハ權をのつてうましくと支配をさうあうーやうづ 汝らの  
 うちハさたあうド 汝らのうちおひあゝんとやつさるものハ  
 汝らのつさうのこやうべー 汝らのうち首よあゝんと

わつさるものハ 汝らのあまんとあうべー 三人の子も人をつさうめに  
 あゝとつて人よつとれまうその生命をまて、おちくの人  
 よかゝりてあゝるんあにされさうがうー 九うましく エリコ  
 さいとらるさいおちくの人ぐ 耶穌よとらるり 十とてさうよみち  
 のやうりよとらるりさうりの目さひ 耶穌のさうらー 十と  
 さひびてひひける主やダビデの子らまうとあゝれたまう  
 三人ぐだちるべーとらまうとさうめりされどもあふおち  
 のよさひんでひひける主やダビデの子らまうとあゝれた  
 まう 耶穌とさうこれとさひびてひひけるハされ 汝らにあま

あさんとわがみや<sup>三</sup>耶穌よいのひげえ主<sup>主</sup>やられらの目のひげえ  
うをねがふ言<sup>言</sup>耶穌おのひやりてその目よ手とつげにさる  
らちその目のうさげさバ耶穌よあぶら

第二十一章

さてエロツルマよらうづさ<sup>橄欖山</sup>のベツパゲよらうらうら<sup>三</sup>耶穌  
かこののでとつらして<sup>二</sup>うまにひひげえ汝らの對ひに  
ゆげよつらげの驢馬<sup>驢馬</sup>とその子のとまあるよやぞあさん  
それとてとつらして<sup>三</sup>のうまそれ<sup>三</sup>き<sup>一</sup>汝よあまらうら  
のあ<sup>一</sup>バ主<sup>主</sup>の入用<sup>入用</sup>ありとら<sup>一</sup>バ<sup>一</sup>とそれバ<sup>一</sup>とら<sup>一</sup>これとつら

うと<sup>一</sup>バ<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ひん<sup>一</sup>やのこ<sup>一</sup>にう<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>汝の王<sup>王</sup>和<sup>和</sup>と<sup>一</sup>驢馬<sup>驢馬</sup>  
の子<sup>一</sup>のり<sup>一</sup>汝よ<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>シ<sup>一</sup>の女<sup>女</sup>よつげ<sup>一</sup>と<sup>一</sup>五<sup>一</sup>の<sup>一</sup>あ<sup>一</sup>  
やう<sup>一</sup>に<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>り<sup>一</sup>六<sup>一</sup>門<sup>一</sup>徒<sup>一</sup>ゆ<sup>一</sup>そ<sup>一</sup>耶穌の命<sup>命</sup>せ<sup>一</sup>と<sup>一</sup>や<sup>一</sup>  
七<sup>一</sup>驢馬<sup>驢馬</sup>とその子<sup>子</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>れ<sup>一</sup>が<sup>一</sup>こ<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>も<sup>一</sup>と<sup>一</sup>その<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>  
耶穌とこれよの<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>夜<sup>夜</sup>とみらに<sup>一</sup>  
あ<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>  
よ<sup>一</sup>あ<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>  
う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>  
エロツルマよらうづさ<sup>一</sup>城下<sup>城下</sup>とら<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>の<sup>一</sup>う<sup>一</sup>ま<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>

くれぞや<sup>エ</sup>人<sup>ど</sup>ぐこれハカリラヤナザレのぶ<sup>ん</sup>や<sup>エ</sup>耶穌<sup>ハ</sup>なりと  
 して<sup>エ</sup>耶穌<sup>神</sup>の殿<sup>ニ</sup>つり殿<sup>の</sup>うち<sup>ニ</sup>賣<sup>買</sup>するものと<sup>い</sup>ひ出<sup>す</sup>  
 一<sup>ニ</sup>兒<sup>銀</sup>者<sup>の</sup>臺<sup>ニ</sup>を<sup>い</sup>鴿<sup>と</sup>うもの<sup>の</sup>う<sup>へ</sup>ひとた<sup>と</sup>一<sup>ニ</sup>三<sup>ら</sup>も<sup>ら</sup>  
 二<sup>つ</sup>ひ<sup>び</sup>ス<sup>ル</sup>が<sup>家</sup>ハ<sup>祈</sup>禱<sup>の</sup>つ<sup>と</sup>と<sup>と</sup>あ<sup>ら</sup>る<sup>べ</sup>一<sup>と</sup>あ<sup>ま</sup>れた<sup>た</sup>  
 三<sup>と</sup>あ<sup>ら</sup>ると<sup>汝</sup>ら<sup>これ</sup>と<sup>盜</sup>賊<sup>の</sup>巢<sup>と</sup>い<sup>せ</sup>り<sup>古</sup>督<sup>者</sup>あ<sup>一</sup>あ<sup>へ</sup>  
 の<sup>人</sup>ぐ<sup>殿</sup>ニ<sup>耶穌</sup>よ<sup>ら</sup>これ<sup>バ</sup>と<sup>い</sup>や<sup>せ</sup>り<sup>五</sup>祭<sup>司</sup>の<sup>と</sup>と<sup>と</sup>  
 一<sup>と</sup>ら<sup>と</sup>士<sup>子</sup>ら<sup>そ</sup>の<sup>い</sup>や<sup>せ</sup>一<sup>と</sup>あ<sup>ら</sup>る<sup>こ</sup>と<sup>も</sup>一<sup>と</sup>童<sup>子</sup>の<sup>殿</sup>  
 一<sup>と</sup>そ<sup>う</sup>ぞ<sup>う</sup>り<sup>て</sup>ダ<sup>ビ</sup>デ<sup>の</sup>子<sup>ホ</sup>ザ<sup>ナ</sup>ド<sup>と</sup>い<sup>ひ</sup>と<sup>見</sup>て<sup>つ</sup>り<sup>と</sup>あ<sup>く</sup>  
 一<sup>と</sup>て<sup>エ</sup>耶穌<sup>よ</sup>つ<sup>ひ</sup>び<sup>ス</sup>ら<sup>ま</sup>つ<sup>の</sup>つ<sup>と</sup>と<sup>あ</sup>ら<sup>と</sup>と<sup>い</sup>や<sup>せ</sup>り<sup>や</sup>耶穌<sup>れ</sup>

一<sup>と</sup>ら<sup>つ</sup>ひ<sup>び</sup>ス<sup>ル</sup>あ<sup>ら</sup>り<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>乳</sup>哺<sup>の</sup>口<sup>り</sup>不<sup>む</sup>と<sup>を</sup>あ<sup>へ</sup>一<sup>と</sup>  
 一<sup>と</sup>あ<sup>ま</sup>れ<sup>一</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>  
 城<sup>下</sup>と<sup>い</sup>て<sup>ベ</sup>タ<sup>ニ</sup>ヤ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>に</sup>や<sup>と</sup>ま<sup>つ</sup>り<sup>六</sup>聖<sup>朝</sup>城<sup>下</sup>り  
 一<sup>と</sup>つ<sup>り</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>  
 一<sup>と</sup>見<sup>て</sup>こ<sup>う</sup>た<sup>ら</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>  
 一<sup>と</sup>ま<sup>つ</sup>び<sup>い</sup>ま<sup>つ</sup>り<sup>の</sup>ら<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>  
 樹<sup>ノ</sup>つ<sup>ひ</sup>び<sup>ス</sup>ル<sup>無</sup>花<sup>果</sup>と<sup>ら</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>  
 一<sup>と</sup>や<sup>一</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>と<sup>い</sup>は<sup>る</sup>ま<sup>つ</sup>  
 三<sup>と</sup>耶穌<sup>ラ</sup>と<sup>い</sup>て<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>い<sup>は</sup>る<sup>ま</sup>つ<sup>と</sup>

信ありてうしぐんぜんバこめつらどくよおひらごころのこ  
 ひしどこの山ようつり海よひまこひしもなるべし且  
 汝ら祈禱しこころに信じてねがふこころよく得べし耶穌  
 殿よいつてとていへらと祭司のとていへらおよび民の  
 長老あどころりてつひけるあよの權威とてこのこと  
 ととるやされがこめひんつと汝よあふころり耶穌こ  
 してうしぐんにいひけるはされも一言汝らよとていへら  
 こころづるあふされもあよのひんつとつてらまことあせ  
 とつてこころを汝らよつていへらヨハンの洗禮とつづきころりぞや

天より人よりかまてたがひよ論じてつひけるはこり天  
 ころりといへらさるるを信ぜぬやといへらヨハニ人  
 ころりといへらさるる民とあそるこれらヨハニ子とよびんや  
 とあふバやりのモとあふら耶穌よとてあふとつり耶穌  
 ころりといひけるハヨハニの權威とつてこれとあせ  
 と汝らよとていへら汝らつておひやある人子よとつり  
 ありしが長子よとていへらハ子や今日ヨハニが葡萄  
 ころりよとていへらさるるはよとてこれハあつせせと  
 いひしがのちたつてあふこころり弟よとていへら

いひかゝるよふて主<sup>も</sup>られぬとていひかゝるよふていひかゝるよふて  
三このやうのよふていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
兄あり耶穌<sup>うしあし</sup>よふていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
およびあそび女ハ汝らより先<sup>まづ</sup>神の國<sup>くに</sup>よふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
くぞい道<sup>みち</sup>より汝らよふていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
とりおよびあそび女ハいふと信ぜり汝らこれとていひかゝるよふて  
と信<sup>しん</sup>ぜりやうよふていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
いひかゝる家のあつて葡萄<sup>ぶどう</sup>どうとていひかゝるよふていひかゝるよふて  
らしそのうち酒<sup>さけ</sup>榨<sup>ぎ</sup>とていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
塔<sup>た</sup>所<sup>しよ</sup>とていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
農夫<sup>のうふ</sup>にうて

遠<sup>とほ</sup>方<sup>はう</sup>へゆき<sup>が</sup>果<sup>は</sup>期<sup>き</sup>らうとていひかゝるよふていひかゝるよふて  
農夫<sup>のうふ</sup>のりくちとていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
いひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
かよのちとていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
いひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
その子とていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
いひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
畑<sup>はたけ</sup>地<sup>ぢ</sup>とていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて  
いひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふていひかゝるよふて

ととたにその農夫よあよとせんや<sup>四</sup> 耶穌よソひけるハこめ  
くまりし<sup>一</sup>ころのどもとくまりし<sup>一</sup>ころうちちちちがて葡  
萄<sup>ドウ</sup>ぶとひととあるととさその果とむむむる<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>の農夫よ  
ととと<sup>一</sup>耶穌よまて<sup>ハ</sup>にソひける聖書よ家つくりの  
まてする石ハ屋のまての首石<sup>カ</sup>とあるこれ主のま<sup>ハ</sup>たま  
ま<sup>ハ</sup>とととれらの目よあやむとありとあるこれと  
いま<sup>ハ</sup>よま<sup>ハ</sup>とととや<sup>四</sup>はあよととと汝らよつげん神の國  
汝らよつうたれその果とむむ<sup>ハ</sup>民よあてたまると  
と<sup>四</sup>この石のうたにたととと<sup>ハ</sup>のハとととれこの石ま<sup>ハ</sup>  
よおらあぐそのま<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>つぎん<sup>五</sup>祭司のま<sup>ハ</sup>ととと  
びパリサイの人<sup>ハ</sup>がま<sup>ハ</sup>のま<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>のま<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>  
ととつて<sup>ハ</sup>耶穌ととと<sup>ハ</sup>とつととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>  
言<sup>ハ</sup>やととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>

第二十二章

耶穌ま<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>  
とある王<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>人<sup>ハ</sup>その子<sup>ハ</sup>のま<sup>ハ</sup>に婚禮<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>  
ま<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>  
ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>  
ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>ととと<sup>ハ</sup>



けのハ、こゝろが、うらやまひ、さみやくり、牛も肥ふる畜を  
 かりて、こゝろく、さみやくり、れ、こゝろ、さみやくり、  
 ちの、こゝろ、の、こゝろ、<sup>五</sup>、れ、ど、か、ま、し、こゝろ、さみやくり、  
 ちの、れ、の、畑、よ、ゆ、こゝろ、ハ、ちの、れ、の、商賣、よ、ゆ、こゝろ、ハ、その、か、み  
 の、よ、ハ、ちの、こゝろ、こゝろ、さみやくり、<sup>七</sup>、王、これ、と、こゝろ、  
 いら、軍勢、と、つ、こゝろ、こゝろ、さみやくり、の、と、や、ち、が、さ、こゝろ、  
 の、邑、と、焼、こゝろ、ハ、その、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、や、ち、の、こゝろ、  
 ち、に、その、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、客、と、さ、ち、の、こゝろ、さみやくり、の、  
 ち、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ち、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、

ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、  
 ちの、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、こゝろ、ハ、ちの、こゝろ、さみやくり、の、

夫そのごとくヘロデのよびしりてしんせむハ師やこれ  
らあはれハまことあるものなりてまことに神のまことと  
やいこれよびしりてしんせむハ師やこれ人のまことと見  
ありまことバ人税とカヒサルよびしりてしんせむハ師や  
あんざいぶおひくるやまことにつげたまふハ耶穌そのあ  
ふとありていつハ偽善者よあんぞとまこととてしりてしんせ  
九人税の金子とまことよびしりてしんせむハ銀錢のまこと  
耶穌よびしりてしんせむハ師やこれの像と號ハこれ  
ぞや三カヒサルのまこととまこととてしりてしんせむハ師  
にいひ

けハまことバカヒサルのまことハカヒサルよびしりてしんせむ  
ハ師やこれのまこととてしんせむハ師やこれのまことと  
三その日よびしりてしんせむハ師やこれのまこととてしんせむ  
耶穌よびしりてしんせむハ師やこれのまこととてしんせむ  
くして死ぬればその兄弟その妻とめしり子と生せ兄弟の  
あしとてしんせむハ師やこれのまこととてしんせむハ師  
長あまのめしりて死し子あひまハそのつもと弟におく  
まことその二その三その七やとてしんせむハ師やこれの  
とんあまの死せりよびしりてしんせむハ師やこれの

しよとあるが、ハに<sup>三</sup>なれ<sup>三</sup>とあり<sup>三</sup>の<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>は<sup>三</sup>なり  
 元 耶穌<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>して<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>に<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>け<sup>三</sup>る<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>ん<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>く<sup>三</sup>聖書<sup>三</sup>と<sup>三</sup>も  
 神のち<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>き<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>く<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>て<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>や<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>と<sup>三</sup>も  
 よ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>く<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>に<sup>三</sup>娶<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ど<sup>三</sup>嫁<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ど<sup>三</sup>神の天<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>る<sup>三</sup>つ<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>の  
 ごと<sup>三</sup>く<sup>三</sup>死<sup>三</sup>せ<sup>三</sup>し<sup>三</sup>の<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>る<sup>三</sup>こと<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>汝<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>神のつ<sup>三</sup>び<sup>三</sup>た  
 ま<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>に<sup>三</sup>これ<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>ア<sup>三</sup>ブ<sup>三</sup>ラ<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>ム<sup>三</sup>の<sup>三</sup>神<sup>三</sup>イ<sup>三</sup>サ<sup>三</sup>ク<sup>三</sup>の<sup>三</sup>神<sup>三</sup>ヤ<sup>三</sup>コ<sup>三</sup>ブ<sup>三</sup>の<sup>三</sup>神  
 あり<sup>三</sup>と<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>る<sup>三</sup>こと<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>る<sup>三</sup>こと<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>く<sup>三</sup>神<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>死<sup>三</sup>せ<sup>三</sup>し<sup>三</sup>も<sup>三</sup>の  
 神<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>り<sup>三</sup>ど<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>る<sup>三</sup>もの<sup>三</sup>神<sup>三</sup>なり<sup>三</sup>人<sup>三</sup>と<sup>三</sup>く<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>て<sup>三</sup>その<sup>三</sup>ど  
 くに<sup>三</sup>お<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>たり<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>リ<sup>三</sup>サイ<sup>三</sup>の<sup>三</sup>人<sup>三</sup>耶穌<sup>三</sup>の<sup>三</sup>サ<sup>三</sup>ド<sup>三</sup>カイ<sup>三</sup>の<sup>三</sup>人<sup>三</sup>と<sup>三</sup>閉<sup>三</sup>口<sup>三</sup>

あり<sup>三</sup>と<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>る<sup>三</sup>こと<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>る<sup>三</sup>こと<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>く<sup>三</sup>神<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>死<sup>三</sup>せ<sup>三</sup>し<sup>三</sup>も<sup>三</sup>の  
 教法師<sup>三</sup>あり<sup>三</sup>もの<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>り<sup>三</sup>耶穌<sup>三</sup>と<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>ん<sup>三</sup>ご<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>て<sup>三</sup>し<sup>三</sup>ひ  
 け<sup>三</sup>る<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>師<sup>三</sup>や<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>り<sup>三</sup>その<sup>三</sup>う<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>お<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>り<sup>三</sup>め<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>ん<sup>三</sup>ご<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>て<sup>三</sup>も  
 耶穌<sup>三</sup>と<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>に<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>け<sup>三</sup>る<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>汝<sup>三</sup>と<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>て<sup>三</sup>く<sup>三</sup>精<sup>三</sup>神<sup>三</sup>と<sup>三</sup>つ<sup>三</sup>く<sup>三</sup>智<sup>三</sup>恵<sup>三</sup>と  
 つ<sup>三</sup>く<sup>三</sup>汝<sup>三</sup>の<sup>三</sup>神<sup>三</sup>あり<sup>三</sup>主<sup>三</sup>と<sup>三</sup>愛<sup>三</sup>と<sup>三</sup>べ<sup>三</sup>これ<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>第<sup>三</sup>一<sup>三</sup>と<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>て<sup>三</sup>お<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ひ  
 あり<sup>三</sup>め<sup>三</sup>あり<sup>三</sup>第<sup>三</sup>二<sup>三</sup>と<sup>三</sup>これ<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>お<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>て<sup>三</sup>も<sup>三</sup>あ<sup>三</sup>り<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>身  
 の<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>汝<sup>三</sup>の<sup>三</sup>隣<sup>三</sup>と<sup>三</sup>愛<sup>三</sup>と<sup>三</sup>べ<sup>三</sup>と<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>て<sup>三</sup>お<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>預<sup>三</sup>言<sup>三</sup>と  
 この<sup>三</sup>や<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>の<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>め<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>り<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>リ<sup>三</sup>サイ<sup>三</sup>の<sup>三</sup>人<sup>三</sup>あり<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>たる  
 と<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>耶穌<sup>三</sup>と<sup>三</sup>こ<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>ま<sup>三</sup>り<sup>三</sup>に<sup>三</sup>ひ<sup>三</sup>け<sup>三</sup>る<sup>三</sup>ハ<sup>三</sup>汝<sup>三</sup>ら<sup>三</sup>キ<sup>三</sup>リ<sup>三</sup>ス<sup>三</sup>ト<sup>三</sup>よ<sup>三</sup>つ<sup>三</sup>いて

いふよぶのやいれの子あるやあしく耶穌よひひける人  
 ダビデの子なり<sup>四</sup>かきくつひひけるハさくバダビデ聖靈<sup>五</sup>の感<sup>六</sup>  
 てこれと主とらあめらいつんぞダビデのつひけるに<sup>四</sup>主<sup>七</sup>こそが  
 主よひひけるハさく汝の衆敵と汝の足<sup>八</sup>ぶくととらあまでこそが  
 手の右よ坐を<sup>九</sup>とされバダビデこそと主とらあしく<sup>一〇</sup>バ  
 につくしてその子よあるや異<sup>一一</sup>言<sup>一二</sup>も耶穌よこ  
 ころあいごぞとまきその日<sup>一三</sup>のつひけるやあしてわれよ  
 ころあいのあごぞ

第二十三章

そのとき耶穌人ぐとて一<sup>一</sup>つひけるハニ士子<sup>二</sup>とパリサイ  
 の人ハモーセの位<sup>三</sup>よ坐を<sup>四</sup>ゆきようきくせめて汝らよいこと  
 とちめりておこあふべ<sup>五</sup>されど<sup>六</sup>の<sup>七</sup>おこあひの<sup>八</sup>ごころ  
 あせこ<sup>九</sup>ち<sup>一〇</sup>れ<sup>一一</sup>つ<sup>一二</sup>ふ<sup>一三</sup>とあ<sup>一四</sup>じ<sup>一五</sup>ぶ<sup>一六</sup>ら<sup>一七</sup>唱<sup>一八</sup>う<sup>一九</sup>る<sup>二〇</sup>の<sup>二一</sup>こ<sup>二二</sup>み<sup>二三</sup>て  
 おこあふこと<sup>二四</sup>ち<sup>二五</sup>け<sup>二六</sup>ま<sup>二七</sup>あり<sup>二八</sup>す<sup>二九</sup>ハ<sup>三〇</sup>お<sup>三一</sup>き<sup>三二</sup>く<sup>三三</sup>て  
 ろ<sup>三四</sup>が<sup>三五</sup>荷<sup>三六</sup>と<sup>三七</sup>り<sup>三八</sup>て<sup>三九</sup>人<sup>四〇</sup>の<sup>四一</sup>肩<sup>四二</sup>よ<sup>四三</sup>ろ<sup>四四</sup>つ<sup>四五</sup>の<sup>四六</sup>ま<sup>四七</sup>れ<sup>四八</sup>も<sup>四九</sup>お<sup>五〇</sup>の<sup>五一</sup>れ<sup>五二</sup>ハ  
 の<sup>五三</sup>指<sup>五四</sup>よ<sup>五五</sup>て<sup>五六</sup>こ<sup>五七</sup>ろ<sup>五八</sup>と<sup>五九</sup>う<sup>六〇</sup>ろ<sup>六一</sup>と<sup>六二</sup>の<sup>六三</sup>ま<sup>六四</sup>つ<sup>六五</sup>の<sup>六六</sup>お<sup>六七</sup>い  
 あひん<sup>六八</sup>せ<sup>六九</sup>て<sup>七〇</sup>人<sup>七一</sup>よ<sup>七二</sup>ろ<sup>七三</sup>と<sup>七四</sup>し<sup>七五</sup>て<sup>七六</sup>あ<sup>七七</sup>よ<sup>七八</sup>お<sup>七九</sup>こ<sup>八〇</sup>あ<sup>八一</sup>ひ<sup>八二</sup>その<sup>八三</sup>佩<sup>八四</sup>釧<sup>八五</sup>と<sup>八六</sup>ら  
 の<sup>八七</sup>ろ<sup>八八</sup>く<sup>八九</sup>て<sup>九〇</sup>その<sup>九一</sup>衣<sup>九二</sup>の<sup>九三</sup>裾<sup>九四</sup>と<sup>九五</sup>お<sup>九六</sup>わ<sup>九七</sup>く<sup>九八</sup>て<sup>九九</sup>ま<sup>一〇〇</sup>ま<sup>一〇一</sup>の<sup>一〇二</sup>

上座會堂の高坐<sup>ゴウサ</sup>ニ市街のあいざら入りラビラビと  
 ぐるぐるまわるといふにびハ汝らニラビのまじりたることを  
 せよといふことあるは汝らの主ハひとりまあるちキリストを  
 主<sup>ウ</sup>汝らハこの兄弟ひとりまある地ニあるものと父といふこと  
 ありし主<sup>ウ</sup>のまはひとりまある天<sup>ソラ</sup>より降りしものなる  
 汝らの主<sup>ウ</sup>のひとりまあるキリストありニ汝らのうちにお  
 りあるものハ汝らのまあるとあるは主<sup>ウ</sup>より降りしものなる  
 のハひとりまあるキリストのまあるにせよ

あらば主<sup>ウ</sup>嗟呼<sup>アハ</sup>汝ら<sup>キナ</sup>のいあるまはくわとパリサイの人  
 偽善者<sup>ヘンゼン</sup>よりいふことあるはそは天國<sup>ソラ</sup>と人のまはつらて  
 おのまはしつとていふるとそのものもゆるしをせられバ  
 たり<sup>チ</sup>嗟呼<sup>アハ</sup>汝ら<sup>キナ</sup>のいあるまはくわとパリサイの人<sup>ヘンゼン</sup>  
 者<sup>モノ</sup>といふことあるは救女婦<sup>サウメ</sup>の家と并呑<sup>ヘンコン</sup>いづくつらてある  
 ものといふことあるは汝ら<sup>キナ</sup>のいあるまはくわとパリサイ  
 といふことあるはあり<sup>チ</sup>あは汝ら<sup>キナ</sup>のいあるまはくわとパリサイ  
 の人<sup>ヒト</sup>偽善者<sup>ヘンゼン</sup>よりいふことあるは宗<sup>ソウ</sup>旨<sup>シ</sup>よりいふことあるは  
 主<sup>ウ</sup>より降りし海陸<sup>ウミ</sup>とめぐる<sup>メグ</sup>るものなるは汝ら

うりあふ倍してこれと地獄の子とあやり共あつ汝らも  
 らひあつらる替者ある手ひきよそのらるるたにたれそよ  
 殿とさして誓言のいちひとぞと殿の金とさしてらふ  
 のいそむくべしとぞといつらふおろくにてめひなる  
 のよとらとこのの金と清浄よとら神  
 ありらづまじやまこれまも祭の壇とさしてらふ  
 のいらひとまじやまこれまも祭の壇とさしてらふ  
 のいそむくべしとぞといつらふおろくにてめひなる  
 のよとらとこのの金と清浄よとら神

祭の壇ありらづまじやまこれまも祭の壇とさしてらふ  
 のいそむくべしとぞといつらふおろくにてめひなる  
 のよとらとこのの金と清浄よとら神  
 ありらづまじやまこれまも祭の壇とさしてらふ  
 のいそむくべしとぞといつらふおろくにてめひなる  
 のよとらとこのの金と清浄よとら神

づゝゝづゝのめいり言めーひの手ひをぶらうと瀧て出ー  
 駱駝とのびのめあり五汝らうづと盤の外とゝうら  
 よハもくげいもめと淫欲あるものよそそりきめーひあり  
 パリサイの人よ杯と盤のそととゝうらあさんいもくづその  
 うらとゝうらくもべーモあ汝らうらひあうらあかくーや  
 とパリサイの人偽善者よいつよとあまバあうくめうらう墳墓  
 よいつりそとハうつゝ見うらよハ骸骨とよまぐのけれ  
 うそみそりハかものごゝ汝らもまう外よ人よたうー見え  
 うらよハ偽善と不法よそそり元あ汝らうらひなる

うらぐーやとパリサイの人偽善者よいつよとあまハぶらうや  
 の壁とそと義人の石碑とかざりキまうらうら先  
 祖のそとにありーあバ預言者の血とあぐとよ荷擔  
 せうらーものよと三されバ汝らうらぶらやとらせめめ  
 せうらあうらと汝らうらうらとて證據せうら  
 三汝らの先祖の量度とらせよ三蛇蝮のくらひぞ汝ら  
 いぞ地獄の刑罰とらせうら言このもろよらよ預言  
 ーやと智者と士子と汝らうらうらとあうらハうら  
 十字架よつけあうらハ會堂よひらうらうらにおいて







よきもののハそのころよきものにいらぬまればたてしむるひあるハ  
 その日くるものとして乳をのみてるといふもなり 汝ら冬（ふゆ）に  
 安息（やすみ）日は逃（にげ）るることをしるすにせよと云ふ言はれしことありし  
 とてのちひあるあやと世のくどめなり 今よきことをせよと云ふ  
 のにいふにあらざるはまことの御言のまじりしことありしに  
 その日よきことかきせられたるにせよといふことをしるすに  
 一はとありしことあるものいふにその日よきことかきせられたる  
 一はとありしことあるにせよと云ふにありしことありしことありし  
 汝らにいふものありしと云ふ言はれしこととありしことありしこと

キリスト偽預言者（きりすとごいげんしゃ）からおきて仕遂（しすい）らるるあはれなるま  
 ち一のものなむおむくやうにおくひある兆（しるし）に  
 あつこととあつせん 五はとされ 汝らよあはれかあつお  
 ことなむよきことと云ふキリスト野（の）よありしことありしこと  
 りるあはれなる蜜屋（みつや）よありしことありしことと云ふ言はれし  
 あはれなるものなむおむくやうにおくひあるにせよと云ふ言はれし  
 めくことと云ふ人の子のことをいふことありしことありしことと  
 屍（こころ）のあはれなる鷹（たけ）ありしことと云ふ 九はとありしことありしこと  
 十はとありしことと云ふ 日ハくる町（まち）のつらと云ふことありしことありしこと  
 十一はとありしことと云ふ 星（ほし）ハささるる

おち天のいきりひのうろこト 十 そのとと人の子の兆天よ  
あぐれちる地上よある庶族あぐれ人の子權威とちの  
ある光明あつて天の雲よりのととととととト 三 ちの喇叭  
のおろひあるととととととととととととト 三 そのあぐれ  
のいと天のこのととととととととととととト 三 四方よりのあつてト 三 それ  
汝ら無花果よりのととととととととととととト 三 その枝よととととととト  
して葉めぐめど夏のちととととととととととととト 三 のととととととととととととト  
ととととととととととととととととト 三 門ととととととととととととト  
言ちととととととととととととととととト 三 のととととととととととととト 三 の民と

失ざりト 五 天地はうせんされととととととト 三 づらととととととト 三 ちり

あぐれその日そのととととととととととととト 三 父のつう天のつうととととととト 三 されと

ととととととト 三 人の子のととととととト 三 ちととととととト 三 ちとととととト 三 ちと

三ととと洪水のちト 三 方舟よりの日ととと人ト 三 飲食嫁

娶あぐれト 三 洪水ととととととととととととト 三 ちとととととト 三 ちとととととト 三 ちと

ととととととト 三 人の子のととととととト 三 ちとととととト 三 ちとととととト 三 ちと

田畑とあぐれのととととととト 三 ととととととト 三 ととととととト 三 ととととととト 三 と

旋磨よりのととととととト 三 ととととととト 三 ととととととト 三 ととととととト 三 と

ちとととととト 三 ととととととト 三 ととととととト 三 ととととととト 三 と

あるに盗賊ぬせうのついでにさうさへんをさすつたまのまをその  
 家とやげせせんそふくそちえよ雷のめあよ汝らも  
 やうい覺悟かくをやらうあさばあふさるともた人の子こそ  
 らん四五とこふりて糧かたをさくしにあふるよあよ主人しゅじんの  
 その家内けいのめううよあふさる忠義ちうぎよかへんえん  
 へんあふあふ其主人しゅじんさうりてかくつとむつを見バそのあふ  
 へんあふのあふ四五つとまへんに汝らよつげんその身代みしろさあふ  
 といふまへせん其のあふとふのあふさうらよつげん主人しゅじん  
 のさうハあふさうとつひて兎その傍輩はうばいとむらうち酒さけよ  
 あひふのめうと飲食おんじをさ初はつあバ其のあふの主人しゅじんハあふ  
 へんあふの日とつげんのをさたにさうりてれとさうらうつ偽善がせん  
 者と分ぶんとあふとつて刑けいせんそさうりてかあつと齒はがこさるこ  
 とあふと

第二十五章

そのとと天國てんごくととも火かとさうりて新娶しんむとむつたつぐ  
 十人の娘むすめよあぞらとつてそのうち五人がう五人あふ  
 うなりあふさあふのハそのととも火かとさうらよ油あぶらとさうら  
 ぎ四かへんあふのハそのととも火かとさうらに器うつしよあふと

五 新娶者ハおそけまじばなかりねよいらひり  
 六 夜あふたにうよんあまじこまひりねむひよんあまの  
 こゑあひまじばせこめむあまのあまのあまのあまの  
 火とらのあまよひあろうあまのあまのあまのあまのあ  
 るとあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 らまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 らくハあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 ちのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 りあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 寧賣のあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 新娶のあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 婚禮のあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ

門ハあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 主やあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 よつげんあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 る日と時あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 人のあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 谷その器量あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 一千とあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 てこれとあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ  
 のあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあ

ゆきそ地とわりその主の金とわくせり十九りどしてのちそのあま  
 のあうとせりとせりと計會とあーげとよ五千の金と  
 げーのそのや、五千金とてらとせりて主やとれは五千の  
 金とあひげよとらよそのやとに五千の金とまうけとらとらひひ  
 ぐ三そのあうとよとらひひひの鳴呼善且忠あるあまどど汝と  
 うあつらとにたつて忠よあせりてとせ汝よらうとらよのよとらとら  
 せん汝のあうとのよらとびよとらとらと二千の金ととらとらのよ  
 とらと主やとせよ二千の金とあひげよとらよそのやとに二千の金  
 とまうけとらととらとらとそのあうととらとらとひひひのあ、善且忠

ありあまどど汝とづうあることよおいて忠よあせりてれ汝と  
 たらとらのよとつとらとらとせん汝のあうとのよらとびよとらと  
 よとらとらと一千の金ととらとらとのよとらとてとらとらと主や汝と  
 とらとらと人ととらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと  
 らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと

金とバ兒銀者よあづけおくべしありまをばりぐり  
 とくに元金と利息とをうけとりて六ふりて一まの一千  
 の金とくりて十千の金あるものよあふん元つふよあまバ  
 そまのつものつあてあふありあふ一めあふぐり  
 のよハそのつものまどよとる一あまバありキいづ  
 らあふあふとそまのつふおひおひおひそこまてくあふ一  
 齒ぐみせらことあふ一こそ人の子おのれの威光よそ  
 めろくの聖あつひとつふいふいふいふハその威光あ  
 りくろよ一墜一國の民とそまのまふよあつめ羊と牧

の綿羊と山羊とをころごころよと品とけ  
 綿羊とその右山羊とのごりよおん言つのは王右よとら  
 のよんんが父よめぐまらめよいふつて世のつめ  
 たりあふ汝らのあふそまらま一國と継よいふ  
 あまバ飢ととたつとよ食せ渴  
 旅せととたつとれとやとせ裸あり一ととつとれよ  
 夜せ病一ととつととを訪尋獄よあり一ととたつとれ  
 よととつとバありまこつとにおいで義めつとつとつて  
 くん主やん主の飢ととと食せまつと渴ととと

のませーや<sup>六</sup>つ<sup>七</sup>主の<sup>八</sup>旅<sup>九</sup>せーと<sup>十</sup>て<sup>十一</sup>や<sup>十二</sup>て<sup>十三</sup>や<sup>十四</sup>て<sup>十五</sup>や<sup>十六</sup>て<sup>十七</sup>や<sup>十八</sup>て<sup>十九</sup>裸<sup>二十</sup>ありー  
 の<sup>二十一</sup>夜<sup>二十二</sup>せーや<sup>二十三</sup>元<sup>二十四</sup>つ<sup>二十五</sup>主の<sup>二十六</sup>病<sup>二十七</sup>ま<sup>二十八</sup>獄<sup>二十九</sup>ありーと<sup>三十</sup>て<sup>三十一</sup>主<sup>三十二</sup>に<sup>三十三</sup>  
 たりーや<sup>三十四</sup>早<sup>三十五</sup>王<sup>三十六</sup>さ<sup>三十七</sup>て<sup>三十八</sup>り<sup>三十九</sup>ま<sup>四十</sup>了<sup>四十一</sup>に<sup>四十二</sup>い<sup>四十三</sup>ん<sup>四十四</sup>ま<sup>四十五</sup>て<sup>四十六</sup>に<sup>四十七</sup>汝<sup>四十八</sup>ら<sup>四十九</sup>に<sup>五十</sup>び<sup>五十一</sup>ん  
 汝<sup>五十二</sup>ら<sup>五十三</sup>ぞ<sup>五十四</sup>う<sup>五十五</sup>ら<sup>五十六</sup>ぶ<sup>五十七</sup>この<sup>五十八</sup>兄<sup>五十九</sup>弟<sup>六十</sup>の<sup>六十一</sup>い<sup>六十二</sup>ら<sup>六十三</sup>て<sup>六十四</sup>ら<sup>六十五</sup>つ<sup>六十六</sup>ま<sup>六十七</sup>め<sup>六十八</sup>の<sup>六十九</sup>ひ<sup>七十</sup>り<sup>七十一</sup>よ  
 ら<sup>七十二</sup>こ<sup>七十三</sup>あ<sup>七十四</sup>つ<sup>七十五</sup>の<sup>七十六</sup>ハ<sup>七十七</sup>せ<sup>七十八</sup>あ<sup>七十九</sup>ん<sup>八十</sup>ち<sup>八十一</sup>り<sup>八十二</sup>と<sup>八十三</sup>し<sup>八十四</sup>よ<sup>八十五</sup>お<sup>八十六</sup>こ<sup>八十七</sup>あ<sup>八十八</sup>ひ<sup>八十九</sup>ー<sup>九十</sup>あり<sup>九十一</sup>四<sup>九十二</sup>つ<sup>九十三</sup>ひ<sup>九十四</sup>よ<sup>九十五</sup>ま<sup>九十六</sup>い  
 の<sup>九十七</sup>び<sup>九十八</sup>り<sup>九十九</sup>に<sup>一百</sup>い<sup>一百一</sup>ん<sup>一百二</sup>の<sup>一百三</sup>よ<sup>一百四</sup>ら<sup>一百五</sup>ん<sup>一百六</sup>罰<sup>一百七</sup>せ<sup>一百八</sup>ら<sup>一百九</sup>る<sup>二百</sup>め<sup>二百一</sup>の<sup>二百二</sup>よ<sup>二百三</sup>つ<sup>二百四</sup>れ<sup>二百五</sup>と<sup>二百六</sup>ん<sup>二百七</sup>あ<sup>二百八</sup>ま<sup>二百九</sup>  
 て<sup>三百</sup>惡<sup>三百一</sup>魔<sup>三百二</sup>と<sup>三百三</sup>そ<sup>三百四</sup>の<sup>三百五</sup>つ<sup>三百六</sup>つ<sup>三百七</sup>ひ<sup>三百八</sup>の<sup>三百九</sup>こ<sup>四百</sup>あ<sup>四百一</sup>よ<sup>四百二</sup>ま<sup>四百三</sup>あ<sup>四百四</sup>ー<sup>四百五</sup>と<sup>四百六</sup>ん<sup>四百七</sup>さ<sup>四百八</sup>る<sup>四百九</sup>火<sup>五百</sup>よ<sup>五百一</sup>つ<sup>五百二</sup>れ  
 一<sup>五百三</sup>と<sup>五百四</sup>ら<sup>五百五</sup>つ<sup>五百六</sup>つ<sup>五百七</sup>よ<sup>五百八</sup>と<sup>五百九</sup>あ<sup>六百</sup>ま<sup>六百一</sup>バ<sup>六百二</sup>飢<sup>六百三</sup>ー<sup>六百四</sup>と<sup>六百五</sup>ん<sup>六百六</sup>た<sup>六百七</sup>り<sup>六百八</sup>と<sup>六百九</sup>し<sup>七百</sup>よ<sup>七百一</sup>食<sup>七百二</sup>ま<sup>七百三</sup>ぞ<sup>七百四</sup>か<sup>七百五</sup>ら<sup>七百六</sup>ん<sup>七百七</sup>に  
 一<sup>七百八</sup>と<sup>七百九</sup>ら<sup>八百</sup>つ<sup>八百一</sup>つ<sup>八百二</sup>よ<sup>八百三</sup>の<sup>八百四</sup>ま<sup>八百五</sup>あ<sup>八百六</sup>ま<sup>八百七</sup>ぞ<sup>八百八</sup>一<sup>八百九</sup>と<sup>九百</sup>び<sup>九百一</sup>や<sup>九百二</sup>ー<sup>九百三</sup>と<sup>九百四</sup>ん<sup>九百五</sup>た<sup>九百六</sup>り<sup>九百七</sup>れ<sup>九百八</sup>と<sup>九百九</sup>證<sup>一千</sup>

ら<sup>一</sup>せ<sup>二</sup>ど<sup>三</sup>裸<sup>四</sup>あ<sup>五</sup>り<sup>六</sup>ー<sup>七</sup>と<sup>八</sup>ん<sup>九</sup>た<sup>十</sup>ら<sup>十一</sup>と<sup>十二</sup>ま<sup>十三</sup>る<sup>十四</sup>よ<sup>十五</sup>夜<sup>十六</sup>せ<sup>十七</sup>ど<sup>十八</sup>病<sup>十九</sup>ま<sup>二十</sup>獄<sup>二十一</sup>あり  
 一<sup>二十二</sup>と<sup>二十三</sup>ん<sup>二十四</sup>た<sup>二十五</sup>り<sup>二十六</sup>れ<sup>二十七</sup>と<sup>二十八</sup>訪<sup>二十九</sup>尋<sup>三十</sup>ざ<sup>三十一</sup>れ<sup>三十二</sup>バ<sup>三十三</sup>あ<sup>三十四</sup>り<sup>三十五</sup>四<sup>三十六</sup>こ<sup>三十七</sup>ら<sup>三十八</sup>い<sup>三十九</sup>て<sup>四十</sup>ら<sup>四十一</sup>ま<sup>四十二</sup>ら<sup>四十三</sup>  
 ち<sup>四十四</sup>い<sup>四十五</sup>ら<sup>四十六</sup>ま<sup>四十七</sup>て<sup>四十八</sup>い<sup>四十九</sup>ら<sup>五十</sup>ん<sup>五十一</sup>主<sup>五十二</sup>や<sup>五十三</sup>ら<sup>五十四</sup>主<sup>五十五</sup>の<sup>五十六</sup>飢<sup>五十七</sup>ま<sup>五十八</sup>ハ<sup>五十九</sup>渴<sup>六十</sup>ま<sup>六十一</sup>旅<sup>六十二</sup>ー  
 ま<sup>六十三</sup>て<sup>六十四</sup>裸<sup>六十五</sup>ま<sup>六十六</sup>て<sup>六十七</sup>病<sup>六十八</sup>ま<sup>六十九</sup>獄<sup>七十</sup>あり<sup>七十一</sup>ー<sup>七十二</sup>と<sup>七十三</sup>見<sup>七十四</sup>て<sup>七十五</sup>主<sup>七十六</sup>よ<sup>七十七</sup>ら<sup>七十八</sup>入<sup>七十九</sup>ら  
 一<sup>八十</sup>と<sup>八十一</sup>ら<sup>八十二</sup>や<sup>八十三</sup>四<sup>八十四</sup>五<sup>八十五</sup>そ<sup>八十六</sup>の<sup>八十七</sup>と<sup>八十八</sup>ん<sup>八十九</sup>た<sup>九十</sup>王<sup>九十一</sup>に<sup>九十二</sup>ま<sup>九十三</sup>て<sup>九十四</sup>ら<sup>九十五</sup>ま<sup>九十六</sup>ら<sup>九十七</sup>い<sup>九十八</sup>ん<sup>九十九</sup>ま<sup>一百</sup>ら<sup>一百一</sup>ま<sup>一百二</sup>ら  
 汝<sup>一百三</sup>ら<sup>一百四</sup>に<sup>一百五</sup>び<sup>一百六</sup>ん<sup>一百七</sup>こ<sup>一百八</sup>の<sup>一百九</sup>い<sup>二百</sup>ら<sup>二百一</sup>ら<sup>二百二</sup>ま<sup>二百三</sup>ら<sup>二百四</sup>ま<sup>二百五</sup>ら<sup>二百六</sup>の<sup>二百七</sup>い<sup>二百八</sup>ら<sup>二百九</sup>ま<sup>三百</sup>ら<sup>三百一</sup>の  
 一<sup>三百二</sup>ハ<sup>三百三</sup>せ<sup>三百四</sup>あ<sup>三百五</sup>ん<sup>三百六</sup>ち<sup>三百七</sup>り<sup>三百八</sup>れ<sup>三百九</sup>よ<sup>四百</sup>お<sup>四百一</sup>い<sup>四百二</sup>ら<sup>四百三</sup>ま<sup>四百四</sup>ら<sup>四百五</sup>つ<sup>四百六</sup>つ<sup>四百七</sup>の<sup>四百八</sup>あ<sup>四百九</sup>つ<sup>五百</sup>つ<sup>五百一</sup>ハ<sup>五百二</sup>ら<sup>五百三</sup>ら<sup>五百四</sup>ハ  
 一<sup>五百五</sup>か<sup>五百六</sup>ら<sup>五百七</sup>ら<sup>五百八</sup>あ<sup>五百九</sup>ら<sup>六百</sup>刑<sup>六百一</sup>罰<sup>六百二</sup>よ<sup>六百三</sup>ら<sup>六百四</sup>つ<sup>六百五</sup>つ<sup>六百六</sup>の<sup>六百七</sup>い<sup>六百八</sup>ら<sup>六百九</sup>ま<sup>七百</sup>ら<sup>七百一</sup>の<sup>七百二</sup>か<sup>七百三</sup>ら<sup>七百四</sup>ら<sup>七百五</sup>の<sup>七百六</sup>い<sup>七百七</sup>ら<sup>七百八</sup>ま<sup>七百九</sup>ら<sup>八百</sup>の  
 一<sup>八百一</sup>ら<sup>八百二</sup>よ<sup>八百三</sup>ら<sup>八百四</sup>ら<sup>八百五</sup>ら<sup>八百六</sup>ら<sup>八百七</sup>ら<sup>八百八</sup>ら<sup>八百九</sup>ら<sup>九百</sup>ら<sup>九百一</sup>ら<sup>九百二</sup>ら<sup>九百三</sup>ら<sup>九百四</sup>ら<sup>九百五</sup>ら<sup>九百六</sup>ら<sup>九百七</sup>ら<sup>九百八</sup>ら<sup>九百九</sup>ら<sup>一千</sup>



第二十六章

さてさうして耶穌このまゝのころにひびおくらせてその門で  
徒よりひびけし二日のうちよハ逾越のまつりありんと汝ら  
もあつてありやう人の子十字架よつげしめんためよこ  
しむらやうりとニそのととと祭司のまゝと士子と民  
の長老とらカヤバとつる祭司のまゝのちの庭にあ  
つたり四詭計とつて耶穌とくくもんともむぐに  
くつり五ひびけし民のうちよ亂のおらんをとおそら  
ゆえよまつりの日よハとつてぞバそまに耶穌ベタニヤの癩

病のシモンの家よとらととにハある婦蠟石の器よあつた  
くよ没薬と耶穌よりらとつり耶穌食とらととにその首  
よけしバハその門徒見てつりとやみこの費のこハあよ  
ゆえぞやカそれこの没薬と賣バむくの金とえてまづ  
まのよやごにまづむのよひびくとハ耶穌ありてくま  
らにひびけしとつてとつてとつてとつてとつてとつてとつて  
とんあどあやちとらやハまづしとつてとつてとつてとつて  
まよこれハつてとつてとつてとつてとつてとつてとつて  
けハ我のくうむりのあよあやりまづとつてとつてとつて

天<sup>あめ</sup>が下<sup>くだ</sup>にづくよそのこの福音<sup>ふくいん</sup>のひろあらうとてあつよこの  
 さんあのおや<sup>おや</sup>ー<sup>おや</sup>もその形見<sup>かたみ</sup>のふめよいつてくらするべ<sup>十四</sup>ー  
 そのとと十二<sup>じふに</sup>でーのひと<sup>ひ</sup>りイスカリオテのユダとい<sup>い</sup>るもの祭<sup>まつり</sup>  
 司<sup>つかさど</sup>のよ<sup>よ</sup>も<sup>も</sup>よ<sup>よ</sup>め<sup>め</sup>よ<sup>よ</sup>十五<sup>十五</sup> くれ<sup>くれ</sup>よ<sup>よ</sup>と<sup>と</sup>汝<sup>なんぢ</sup>らよ<sup>よ</sup>も<sup>も</sup>よ<sup>よ</sup>め<sup>め</sup>よ<sup>よ</sup>  
 とあ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>るや<sup>や</sup>と<sup>と</sup>ひ<sup>ひ</sup>げ<sup>げ</sup>よ<sup>よ</sup>銀<sup>ぎん</sup>三十<sup>さんじゅう</sup>と<sup>と</sup>かれよ<sup>よ</sup>約<sup>やく</sup>せり<sup>せり</sup>ま<sup>ま</sup>この<sup>この</sup>  
 ぶり<sup>ぶり</sup>耶穌<sup>イエス</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>よ<sup>よ</sup>さん<sup>さん</sup>と<sup>と</sup>り<sup>り</sup>と<sup>と</sup>う<sup>う</sup>も<sup>も</sup>り<sup>り</sup>も<sup>も</sup>除<sup>とりのみ</sup>酵<sup>み</sup>ぐん<sup>ぐん</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>つ<sup>つ</sup>り  
 の<sup>の</sup>く<sup>く</sup>め<sup>め</sup>の<sup>の</sup>日<sup>ひ</sup>よ<sup>よ</sup>で<sup>で</sup>ー<sup>ー</sup>耶穌<sup>イエス</sup>よ<sup>よ</sup>も<sup>も</sup>よ<sup>よ</sup>り<sup>り</sup>と<sup>と</sup>ひ<sup>ひ</sup>げ<sup>げ</sup>ハ<sup>ハ</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>し</sup>逾<sup>とほ</sup>越<sup>こ</sup>  
 の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>つ<sup>つ</sup>り<sup>り</sup>よ<sup>よ</sup>食<sup>たべ</sup>事<sup>ごと</sup>せん<sup>せん</sup>と<sup>と</sup>て<sup>て</sup>ま<sup>ま</sup>れ<sup>れ</sup>ら<sup>ら</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>し</sup>め<sup>め</sup>ハ<sup>ハ</sup>そ<sup>そ</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>し</sup>づく  
 よ<sup>よ</sup>せん<sup>せん</sup>と<sup>と</sup>ら<sup>ら</sup>つ<sup>つ</sup>と<sup>と</sup>ら<sup>ら</sup>や<sup>や</sup>耶穌<sup>イエス</sup>ひ<sup>ひ</sup>げ<sup>げ</sup>ハ<sup>ハ</sup>城<sup>しろ</sup>下<sup>か</sup>よ<sup>よ</sup>り<sup>り</sup>何<sup>なに</sup>が<sup>が</sup>ー<sup>ー</sup>よ<sup>よ</sup>

い<sup>い</sup>つ<sup>つ</sup>り<sup>り</sup>て<sup>て</sup>師<sup>し</sup>い<sup>い</sup>つ<sup>つ</sup>る<sup>る</sup>ハ<sup>ハ</sup>も<sup>も</sup>時<sup>とき</sup>ら<sup>ら</sup>づ<sup>づ</sup>げ<sup>げ</sup>ハ<sup>ハ</sup>門<sup>かど</sup>徒<sup>で</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>こ<sup>こ</sup>ー  
 の<sup>の</sup>食<sup>たべ</sup>事<sup>ごと</sup>と<sup>と</sup>汝<sup>なんぢ</sup>の家<sup>いへ</sup>よ<sup>よ</sup>ひ<sup>ひ</sup>つ<sup>つ</sup>と<sup>と</sup>べ<sup>べ</sup>ー<sup>ー</sup>い<sup>い</sup>十九<sup>十九</sup> ー<sup>ー</sup>耶穌<sup>イエス</sup>の<sup>の</sup>命<sup>いのち</sup>や<sup>や</sup>  
 ー<sup>ー</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>よ<sup>よ</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>食<sup>たべ</sup>事<sup>ごと</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>日<sup>ひ</sup>くれ<sup>れ</sup>よ<sup>よ</sup>耶穌<sup>イエス</sup>  
 十二<sup>じふに</sup>で<sup>で</sup>ー<sup>ー</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>席<sup>せき</sup>よ<sup>よ</sup>坐<sup>ま</sup>ー<sup>ー</sup>り<sup>り</sup>ニ<sup>ニ</sup>食<sup>たべ</sup>と<sup>と</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>ひ<sup>ひ</sup>げ<sup>げ</sup>ハ<sup>ハ</sup>  
 ち<sup>ち</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>汝<sup>なんぢ</sup>ら<sup>ら</sup>ハ<sup>ハ</sup>づ<sup>づ</sup>げ<sup>げ</sup>ん<sup>ん</sup>汝<sup>なんぢ</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>の</sup>う<sup>う</sup>ち<sup>ち</sup>の<sup>の</sup>一<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>ハ<sup>ハ</sup>も<sup>も</sup>よ<sup>よ</sup>り<sup>り</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>かれ  
 ら<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>し</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>ひ<sup>ひ</sup>げ<sup>げ</sup>ハ<sup>ハ</sup>耶穌<sup>イエス</sup>よ<sup>よ</sup>り<sup>り</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>主<sup>ぬし</sup>や<sup>や</sup>ま<sup>ま</sup>れ<sup>れ</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>  
 ー<sup>ー</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>ひ<sup>ひ</sup>げ<sup>げ</sup>ハ<sup>ハ</sup>かれ<sup>れ</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>盃<sup>さかずき</sup>よ<sup>よ</sup>手<sup>て</sup>と<sup>と</sup>つ<sup>つ</sup>く<sup>く</sup>もの<sup>の</sup>かれ<sup>れ</sup>  
 とい<sup>い</sup>ひ<sup>ひ</sup>ま<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>言<sup>こと</sup>人<sup>ひと</sup>の子<sup>こ</sup>ハ<sup>ハ</sup>お<sup>お</sup>の<sup>の</sup>れ<sup>れ</sup>よ<sup>よ</sup>つ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>ー<sup>ー</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>  
 とい<sup>い</sup>ひ<sup>ひ</sup>ま<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>言<sup>こと</sup>人<sup>ひと</sup>の子<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>そ<sup>そ</sup>の<sup>の</sup>人<sup>ひと</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>ハ<sup>ハ</sup>い<sup>い</sup>ひ<sup>ひ</sup>ま<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>言<sup>こと</sup>その<sup>その</sup>人<sup>ひと</sup>う<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>

づりーのまの幸あるものと云ふに、  
さういひげのハラビヤかれあつたれよいひげの汝めいつ  
ごもーニ六くまうつ食とるも、  
て門徒はあつていひげを取て、  
杯とり謝し、  
さうづいぶりのめよ、  
とておぢくの人へのあ、  
げん今よりのめら汝らに、  
日まですらびの葡萄

うさうさひてのち橄欖山、  
いひげの今夜汝ら、  
かのさうへん、  
テロコ、  
いひげの今夜、  
死をまあふ



としはとこしをゆるぎなくし  
 りうらよむよ十二の一人ユダ  
 刃と挺とをもちしるおろくの人多くし  
 祭司のとき  
 民の長老よりとされり只耶穌と  
 ことりよのうきくにあ  
 とありてはが接吻せんものこそ  
 されよこれとこし  
 いつり兒すぶらに耶穌よとこりて  
 ラビやとさやといひてくれよ  
 接吻せりキッス耶穌よよといひゆる  
 友よあんのみよとさる  
 やこにありてくまうきみ手と  
 耶穌よひけてしきり  
 五よ耶穌とこにとるものひり  
 手とのごう劍とぬき祭  
 司のよとのちとぶとうらその耳と  
 削せりきせりキこにありて

耶穌よよといひゆるハ汝の劍と  
 したんおさめよつこよとあれ  
 バとて劍ととるものハ劍よと  
 けろよとべ五これ今十二萬  
 余の使者とこれよ賜たすかん  
 こととごが父よねぶらとあ  
 ととどとちのよ五舌ちとバつと  
 聖書よ應どととや  
 つこよあれはくあぬぞあり五  
 五そのことと耶穌  
 人くよといひゆるハ刃と挺と  
 をりちとぬきとととゆる  
 ごとくはこれととよとさるや  
 され日ぐよ汝らとと殿よ  
 坐してとゆといとよ汝らと  
 ととととととととととと  
 ぐらこれよ預言者のちと  
 されよかやよやうにあ  
 たり

こうにおつて門徒らも耶穌とくられてよびつり<sup>モ</sup>耶穌とこ  
 らへしもの士子と長老のあつたりしころの祭司のとき  
 かヤバへこれとひをいゆひり<sup>五</sup>ペテロとくくられて祭司のとき  
 の庭<sup>ユダ</sup>もぞ耶穌よちよどひてつりそのありゆきと見んとて  
 僕<sup>ユダ</sup>とよん<sup>ユダ</sup>の坐しつり<sup>五</sup>祭司のときつら長老と全公會と  
 耶穌ところさんとつらりの證據とひむきともえむ<sup>五</sup>辛<sup>五</sup>おふ  
 くのおつらりの證據人<sup>ユダ</sup>とされどもまじえむのちにはつらりの證<sup>ユダ</sup>  
 據人<sup>ユダ</sup>とつりさつりてつひげらハ<sup>六</sup>この人<sup>ユダ</sup>とまじく神の殿ところち  
 て三日<sup>ユダ</sup>のうちよらまこと建んとつひ<sup>ユダ</sup>とあり<sup>六</sup>祭司のよら<sup>ユダ</sup>

うちて耶穌よつひげらハ<sup>六</sup>とつらることありやこの人<sup>ユダ</sup>と汝の證據と  
 つらハあんぞや<sup>六</sup>耶穌默然<sup>ユダ</sup>つり祭司のときつらつてれ  
 よつひげら汝キリスト神の子あるや否<sup>ユダ</sup>と活神<sup>ユダ</sup>よあんぢ  
 とらうんせとこれらよつげあん<sup>六</sup>耶穌よまじよつひげら汝  
 いつまじよつされども汝らよつげんこのち汝らハ人の子權勢<sup>ユダ</sup>  
 の右よ坐し<sup>ユダ</sup>て天の雲よのりてとつらと見へ<sup>六</sup>こつよ  
 おつて祭司のときその衣と裂てつひげらハこの人<sup>ユダ</sup>げらよ  
 こつよいつらあんぞやの證據とひむきともえむ<sup>五</sup>汝らも今  
 そのげらせるこつよとつひり<sup>六</sup>つらよあんぞや人<sup>ユダ</sup>とつら

うまに死よあはれなりといひてきこふにむしてしむるその面に  
 つゞきしむる<sup>キ</sup>奉よそてうちある人もうまをいひていひけるハ  
 六キリストよ汝とらふのハこれぞとこましくに<sup>預言</sup>預言せよ<sup>ペテロ</sup>ペテロ  
 内庭よ坐せーにひるりの下女<sup>ゲヂヤ</sup>うまよとていひけるハ汝  
 もガリラヤの耶穌とてありー<sup>キ</sup>ペテロもてその人のまへよこそ  
 みていひけるハ汝あよといふうまよとていひて門<sup>カド</sup>がらうい  
 るよまういひるりの下女<sup>ゲヂヤ</sup>うまをいひていひていひていひていひていひて  
 この人もナザレの耶穌とてありー<sup>キ</sup>ペテロもこれの人とていひて  
 ぞとていひていひていひていひていひていひていひていひていひていひて

のぞきみよりペテロよいひけるハまうまに汝もそのともいひて  
 のよりありいふとあれバ汝の<sup>言</sup>言汝とていひていひていひていひて  
 いひてペテロの<sup>言</sup>言汝とていひていひていひていひていひていひて  
 鶏<sup>トリ</sup>やがて鳴ー<sup>キ</sup>バ<sup>キ</sup>ペテロ耶穌の<sup>言</sup>言汝とていひていひていひて  
 よ汝三<sup>三</sup>いひていひていひていひていひていひていひていひていひて  
 いひていひていひていひていひていひていひていひていひていひて

第二十七章

平<sup>イ</sup>目<sup>メ</sup>よありてよて祭司の<sup>言</sup>言とていひていひていひていひて  
 つゞきいひていひていひていひていひていひていひていひていひて

縛り懸て方伯のポンテラピラトヨコシセリニ  
 耶穌とヨシセリユダハ死ニシメられ  
 と見て悔ミその銀三十  
 と祭司のヨシセリと長老ヨコシセリ  
 ヲヒギハ無辜の血を  
 コシテヨシセリとアセリヨシセリ  
 ザンゾヤヨシセリヨコシセリユダ銀と殿  
 ヲアゲセリヨコシセリ往  
 テヨシセリ縊り祭司のヨシセリ  
 この銀ヨコシセリヨシセリヨシセリ  
 ハ血のあハられバ賽銭箱ヨコシセリ  
 ヲコシセリヨシセリヨシセリヨシセリ  
 陶工のヨシセリヨシセリヨシセリ  
 ヲコシセリヨシセリヨシセリヨシセリ  
 ヲコシセリヨシセリヨシセリヨシセリ

ヨコシセリヨシセリヨシセリヨシセリ  
 預言者 イエレミヤヨコシセリヨシセリ  
 ヲコシセリヨシセリヨシセリヨシセリ  
 直積られヨシセリヨシセリヨシセリ  
 銀三十枚ヨシセリヨシセリヨシセリ  
 命ゼヨシセリヨシセリヨシセリ  
 陶工のヨシセリヨシセリヨシセリ  
 ヲコシセリヨシセリヨシセリヨシセリ  
 耶穌方伯ヨシセリヨシセリヨシセリ  
 ヲコシセリヨシセリヨシセリヨシセリ  
 長老ヨシセリヨシセリヨシセリヨシセリ  
 ヲコシセリヨシセリヨシセリヨシセリ  
 耶穌一言ヨシセリヨシセリヨシセリ



こゝにありて十五さてこのまつりの日こそカ伯民のぬぐひにあらせ  
 てひらの罪人とゆふとの例ありそのときバラバといつる  
 のころのころころ？罪人ありけむバ民あつたりて？ピラト  
 といひにひびるバラバあるひキリストといつる耶穌あつり  
 汝られとゆふんとつらむるやこそ娼嫉よりりて耶穌と  
 つせしとあむハひり九方伯吟味所よ坐せしときその妻  
 ひひつらひげるその義しものよあはかむるることな  
 れつらむるむむバ今日いひよこの人よよりおろくうまひ  
 さればあり祭司のともころ長老とバラバとゆふ耶穌と殺

とぬぐて民よとせめつりニ方伯とてつらむるにひびるハあり  
 のうちこれむむと汝らにゆふととつらむるやうまむるバラバあり  
 とひひむむピラトのひびるハとキリストといつる耶穌よこれあり  
 とあむむやむ十字架よつひよしつりニ方伯ひひびるハれ  
 むよのあーととあせーやうまむる十字架よつひよと  
 とひひひひむむピラトそのひひくしてつらむるにあり  
 んとせむを見水とつりてひびるのまよと年とあむひひひ  
 たるこの義人の血よハハハ罪あり汝らむむむこれとつら  
 んよ五民よあつてひひびるハその血ハハハとつらむるの

せらるゝかゝるべし。六つにちめてバラバと云ふにゆゑ。耶穌と  
 ひらうちて十字架よつげし。せんあふふせり。モこゝにちいて  
 方伯の兵卒耶穌と公廳よひつきて組中と云ふにゆゑ。六つに  
 六つに衣とくぎとてひらきぬのうへに着とせ。元棘のかむり  
 のとあてその首よむし。めちて葦と右の手よも  
 し。せ且そのまへよひらきまづ。嘲弄してひげハユダヤ人の王  
 やとれ。やうし。は。唾。そのうへ。と。りてその首とうちり  
 三つとて嘲弄。おちりてその外衣とくぎのよめ。と。あ。も。と  
 せ。十字架よつげんとて。ま。と。ひ。さ。め。け。り。い。づ。る。と。ま。く。し。子

の人シモンと云ふものにあひ。ま。に。強。て。その十字架を。負。せ。り  
 三つとて。ゴルゴタと云ふところ。これと譯ハ。觸。牒。の。と。う。ら。よ  
 こ。と。れ。ハ。醋。と。膽。と。あ。ら。せ。て。耶穌よのちせん。と。せ。に。あ。あ  
 てのむと。このちざり。と。て。耶穌と十字架よつげ。の。ち。に  
 預言者のこと。た。う。ま。う。し。と。び。ひ。よ。ろ。が。ら。も。と。う。ら。ち。が  
 外衣と。鬪。う。ま。う。し。い。れ。よ。う。あ。ふ。て。鬪。び。と。て。その衣と  
 三つと。ち。ら。ぬ。と。つ。て。の。こ。に。坐。て。耶穌と。ま。め。ま。り。と。こ  
 ち。ハ。ユ。ダ。ヤ。人。の。王。耶穌あり。と。罪。狀。標。と。その首のうへ。また。て  
 三つ。その。と。ま。う。し。の。あ。ま。び。と。ひ。ら。ハ。耶穌の右ひ。と。り。ハ

左よとよに十字架よつひられたり元往來よそのの耶穌  
 とけご首とつりていひけるハ殿とこぼらして三日よこま  
 とつるものやまづつとよまひよ汝神の子ありバ十字架  
 たりたりよ祭司のよこまら士子長老よもまよおあく  
 嘲弄していひける人をたまひがが身とよまくることあり  
 ばぞよーイスラエルの王よそののたつばいよ十字架よりくごる  
 べーよバクタニとつりてを信ぜんハ神よまらせりこれ  
 ハ神の子ありといひてうハ神れとつくとつとつまたを  
 けよまよべよに十字架よつひられ盗賊もおあは

耶穌とのちまじり四五ひる十二字より三字までその土地よ  
 くくありぬ三字ころ耶穌大聲よまらせてエリエリ  
 ラマサバクタニといつりこまを譯ぐが神よが神あんど  
 とよてよまよやとやうかといふにまらよのまらてよま  
 エリヤとよぶありといつりやとそそのうちのみよりまよ  
 て海賊とつり醋とやませよにつけて耶穌よのませり  
 そのまよのいひけるハまらよエリヤとつりてれとよ  
 くらやいあやと見ん耶穌あり大聲よまらせてその魂  
 とよあちぬらよ殿の戸牒上より下までまけてまら

よありやうに地あり磐さげ墓ひらげきぞうよいのこ  
 信者身おりくよみぐるり耶穌のよこごつりーのち墓とぞ  
 聖城よりのておりくの人よあふられし百夫の長とまに  
 耶穌とまもの地震おびありしと見ていとおそれ  
 てこれいまこゝに神の子ありといつりガリラヤより耶穌よ  
 ちごつてつるーおりくの婦くらふのぞみておりその  
 うちよマダラのマリアとヤコブヨセの母マリアゼベダイの子の  
 母とありー日くれてアリマタヤの富人とあふちでーなる  
 ヨセフと名つるものこそなりハピラトよゆき耶穌の

屍とこひにピラトあふをいとせと命ぜりヨセフ屍と  
 とりてさくさ泉につみこきと磐さげりーおのれのあふ  
 らし墓よおき墓の門よおひある石とあふぐりて  
 ぐりぬマダラのマリアとりのマリアと墓のびよよと壁  
 てそくに居り祭のそあふ日の翌日祭司のよこごつら  
 とパリサイの人ピラトよつごひさそつひびえ主やの偽者  
 の存とよ三日の後よみぐるりしつひーとおしよおそ  
 くハそのでー夜こりこきとぬきて民よ死せーり  
 うこがしきりといふんゆえよ命とて三日まで墓とこあ

とせよと云ふくハのられまどくハ先よりつやちよとべー  
くまにひけるハ汝らよすりのものありゆえそ  
かへとせよと云ふくハ先よりつやちよとべー  
のとして墓とてめとせ

第二十八章

安息日とてさびしきちよりのとどめの日夜あけとて  
のマリヤとてその墓と見んとてさびしき  
おひある地震ありこれ主のつらみ天をりそ石と  
門よりちよとてそのうらよ坐とれバあり三その容貌電

のこころも雪のこころちよとてさびしき  
まにちよとてさびしき死せしものこころありぬ  
て女よひひけるハ汝らハおそくなれ十字架よつげれ  
一 耶穌とておぬるとそれちよとあり六くまハこころに  
どつふとあまバそのひこころにさびしき  
て主のおぬとておぬとておぬとておぬとて  
りよみこころちよとて汝らに先よちよとてガリラヤよめとて  
よそ汝らハくまを見んとつげよハこころちよとておぬと  
おそれるがもつとちよとて墓とておぬとておぬと

とてくらのゆひり九門徒よつげんとゆきしとさたにころよ耶  
 穌よまじりにあふてやまられよといひけりよよんあまみ  
 そのあしといひていざい拜せり十ににおそて耶穌よまじりに  
 けえおそりあられよりてガリラヤよゆげがこよそこれと  
 ころんとマが兄弟よつげよよんあゆくとさころよまももの  
 のうち城下よころよまてありしを祭司のよまはら  
 つげよぶまじりと長老あつありてよまにころりおぢくの  
 銀と士卒よあててつひげえよまじりよよんそので  
 夜よころてよまとわとありとつよよまこのこと方伯にさえ

むぐよまじらよまにまめて汝らよハころあづひあし  
 めんまじり銀よころていひまあられよまじりこの  
 話ハユダヤ人のうちらに今日よころあてつひひあめら  
 ころ十一のでーガリラヤよゆて耶穌のころまに命ぜられ  
 山よころ耶穌と見て拜しころまれどもころまじりよのま  
 ありて耶穌よまてころまじりにころてつひけるハ天のうら  
 地のうらのまての權よこれよたまよまじり九ゆまよま  
 て父と子と聖靈よの名よまじりに洗禮とやどこ  
 子マがまて汝らに命ぜらんとまわれとてくして萬國

の民と門徒とをよきうよきれ世の末期までついに汝ら  
とどりにあつたり亞孟

2297

5-18

NOV 3 1949

94-25006





新約聖書 馬太傳

明治六年刊

ヘボン訳 S・R・ブラウン 奥野昌綱協力

明治三年以来ヘボン Hepburn は四福音書 豫訳に着手。のち

ブラウン、奥野の協力を得。明治五年秋 馬可、約翰傳と、聖

六年始 本書を上梓せるものにて。禁教裡に横浜にて印刷せる秘密

出版なり